



平成 28 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名	株式会社キトー	
代 表 者 名	代表取締役社長	鬼頭 芳雄
コード番号	6409 (東証 第一部)	
問 合 せ 先	取締役 執行役員 経営管理本部長	遅澤 茂樹
	TEL : 03-5908-0161	

中期経営計画に関するお知らせ

(株式会社キトー、5か年の新中期経営計画を発表)

当社は 2016 年度 (2017 年 3 月期) をスタートとする 5 か年の新中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。新しい中期経営計画では、製品・サービス領域の拡大と、生産性の向上により、5 年間で EBITDA を 130 億円へとほぼ倍増させることを目指します。

1. 前中期経営計画策定の振り返り

2016 年 3 月期で終了いたしました前中期経営計画では、ホイスト事業を成長戦略の中心に据え、「真のグローバル No.1 のホイストメーカー」を目指すことをビジョンとして掲げてまいりました。中国やアジア経済の発展を背景に、経済成長が見込まれる地域に経営資源を投入し、世界の各市場ごとに適した事業を押し進める地域戦略を展開し、売上高で 280 億円から 580 億円への成長を目指しました。

その後の中国経済の減速や、世界的な資源価格の低迷などにより、軌道修正を余儀なくされ、比較的好調な北米事業へとリソースを振り向けるとともに、M&A によりチェーン関連メーカーを獲得し、吊り具製品などホイスト周辺機器の品揃え拡大をはかりました。その結果、2016 年 3 月期の売上高は 558 億円となり、5 年間でほぼ 2 倍の成長を遂げることができました。

2. 新中期経営計画の骨子

新しい 5 か年の中期経営計画では、高収益体質への回帰、製品ポートフォリオ拡充による成長、真のグローバル企業への組織進化、の 3 つを経営目標とし、生産性の向上と事業領域の拡大により、5 年

News Release (6409 TSE 1)

間で EBITDA を 130 億円へと倍増させることを目指します。キトーは市場毎に、異なる競合環境に対応した事業を展開し発展させ、それぞれ個別の業務効率化やコストダウンをはかってまいりました。

新中期経営計画では、個別最適に加えて全体最適の観点から、日本、米国、中国の主要な事業 3 拠点のオペレーションの効率化をはかり、サプライチェーンの最適化に取り組みます。リンクチェーン、すなわちクサリの生産においては、これまでの日本、米国の生産拠点に、新たにイタリア、オーストラリアを加え、世界最大クラスの生産量を誇る生産体制ができました。これらの拠点の活用により世界市場に対する最適な供給体制を整備してまいります。

事業領域の拡大に向けては、新たに開発したワイヤロープホイストを既に日本市場に投入、今後はグローバル市場に展開していきます。またチェーン及び吊り具関連の品揃えを充実させ、新たな製品領域の確立を目指してまいります。

3. 補足説明資料

新中期経営計画の詳細につきましては、本日弊社ウェブサイト (<http://kito.com/jp/ir/news/2016/index.shtml>) に公開いたしました「中期経営計画」をご参照ください。

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

以 上